

第1号様式(第10条関係)

令和 5 年 4 月 28 日

沖縄県議会議長 殿

会 派 名 日本共産党沖縄県議会議員団

代表者名 渡久地 修



令和4年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和4年度 政務活動費収支報告書

会派名 日本共産党沖縄県議会議員団

1 収 入 政務活動費 8,400,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	3,600	視察先入館料
研 修 費		
広聴広報費	2,695,920	議会報告印刷代・郵送代 等
要請陳情等 活 動 費		
会 議 費	23,647	会議の際の飲料代
資料作成費		
資料購入費	139,021	新聞、書籍、情報誌等購読料
事 務 費	1,155,249	複合機リース料・カウンター料、パーテーション、文具類、NHK受信料、電話代、ウイルスバスター更新料
人 件 費	3,714,175	事務員給与等
合 計	7,731,612	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 668,388 円

年月日 : 2022年(R4) 11月 12日

調査研究費

充当額 : ¥3,600

充当割合 : 政務活動に活用の為、全額充当

内容 : ひめゆり平和祈念資料館 入館料 @450×8名

参加者 : 渡久地修議員、玉城武光議員、玉城ノブ子議員、西銘純恵議員、
比嘉瑞己議員、瀬長美佐雄議員、島袋恵祐議員、会派職員

領 収 証

日本共産党沖縄県議団様 No. _____

★

¥ 3,600-

但 入館料として(@ ¥450 × 8 名様)

4年 11月 12日 上記正に領収いたしました

ひめゆり平和祈念資料館

〒901-0341 沖縄県糸満市宇伊原
電話 098-997-2100

経費区分別支出一覧表

経費区分 広聴広報費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
4/13	県議団だより「復帰措置に関する建議書」郵送料	1,300	全額	1,300
4/25	県議団だより 第158号 印刷代	122,222	全額	122,222
4/25	県議団だより「復帰措置に関する建議書」印刷代	60,000	全額	60,000
4/25	県議団だより「復帰措置に関する建議書」印刷代(西銘純恵議員分)	1,000	全額	1,000
4/25	県議団だより「復帰措置に関する建議書」印刷代(渡久地修議員分)	20,900	全額	20,900
5/9	県議団だより 第158号 印刷代(西銘純恵議員分)	190,905	全額	190,905
5/16	県議団だより「新たな建議書」印刷代	171,600	全額	171,600
5/27	県議団だより「新たな建議書」郵送料	910	全額	910
6/1	県議団だより 第158号 ポスティング代(西銘純恵議員分)	27,500	全額	27,500
6/6	県議団だより「新たな建議書」郵送料	910	全額	910
6/9	「とぐちおさむ県政報告だより 第103号」配布料	21,000	全額	21,000
7/29	県議団だより「新たな建議書」印刷代	44,000	全額	44,000
8/10	県議団だより 第159号 印刷代	218,240	全額	218,240
8/22	県議団だより 第159号 印刷代(西銘純恵議員分)	316,800	全額	316,800
8/29	県議団だより「新たな建議書」郵送料	1,350	全額	1,350
9/14	県議団だより 第159号 ポスティング代(渡久地修議員分)	274,600	全額	274,600
9/16	県議団だより 第159号 ポスティング代(西銘純恵議員分)	220,000	全額	220,000
11/8	県議団だより 第159号 印刷代(瀬長美佐雄議員分)	211,640	全額	211,640
12/22	県議団だより 第160号 印刷代	122,222	96.4/100	117,822
1/20	ニシメ純恵議会報告用ハガキ購入代	100,800	全額	100,800
1/26	ニシメ純恵議会報告用ハガキ購入代	6,300	全額	6,300
3/17	県議団だより 第161号 印刷代	122,222	全額	122,222
3/17	県議団だより 号外「新しい戦前の始まり」印刷代	71,500	全額	71,500
3/20	「とぐちおさむ県政報告だより」郵送用封筒印刷代	41,800	全額	41,800
3/20	「とぐちおさむ県政報告だより 第104号」印刷代	69,300	96.5/100	66,874
3/31	「とぐちおさむ県政報告だより 第105号」印刷代	263,725	全額	263,725
A. 小計				2,695,920
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計				2,695,920

年月日：2022年(R4)4月13日

広聴広報費

充当額：¥1,300

内容：県議団だより「復帰措置に関する建議書」郵送料
充当割合：政務活動に活用するため全額充当

領収書

日本共産党 沖縄県議団 様

[証紙切手引受]
第一種定形外(規格内) 361.5g
@390 1通 ¥390

小計 ¥390

ゆうパック 80サイズ
265368094331 〒901-0156 ¥1,030

割引 (内訳) -¥120
持込 @120 -¥120

小計 ¥910

郵便物引受合計通数 1通
ゆうパック引受合計個数 1個
課税計(10%) ¥1,300
(内消費税等 ¥117)
非課税計 ¥0

合計 ¥1,300
お預り金額 ¥1,300



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年4月13日 16:01
発行No. 220413A4101 端N38箱02
連絡先：沖縄県庁内郵便局
TEL:098-866-1120

年月日 : 2022年 (R4) 4月25日

広聴広報費

充当額 : ¥122,222

内容 : 県議団だより 第158号 印刷代
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000388

得意先コード	お 得 意 先 名
	日本共産党沖縄県議団 殿

2022年 4月 25日

¥ 122,222



但し 県議団だより 第158号 2022年4月
上記金額正に領収致しました。

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2

TEL (098) 861-9145

FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年 (R4) 4月25日

広聴広報費

充当額 : ¥60,000

内容 : 県議団だより「復帰措置に関する建議書」印刷代
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 取 証

№ 000389

得意先コード	お 得 意 先 名
	日本共産党沖縄県議団 殿

2022年 4月 25日

¥ 60,000



但し県議団だより2022年4月25日発行134x218.5mm
上記金額正に領収致しました。復帰措置に関する建議書

内 訳	現金	
	小切手	
	銀行振込	
	手形	
	相殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年(R4)4月25日

広聴広報費

充当額 : ¥1,000

内容 : 県議団だより「復帰措置に関する建議書」(西銘純恵議員増刷分)
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

№ 000384

得意先コード	お 得 意 先 名
	西銘純恵 殿

2022年4月25日

¥ 1,000

但し県議団だより「復帰措置に関する建議書」
上記金額正に領収致しました。 217枚

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印
	

あけぼの印刷株式会社
〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年(R4)4月25日

広聴広報費

充当額 : ¥20,900

内容 : 県議団だより「復帰措置に関する建議書」(渡久地修議員増刷分)
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000390



得意先コード	お 得 意 先 名
	渡久地 修 殿

2022年4月25日

¥ 20,900

但し県議団だより2810枚 134x2p 2022年4月30日
上記金額正に領収致しました。復帰措置に関する建議書
DM別

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印
	

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-17-1 F2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年 (R4) 5月9日

広聴広報費

充当額 : ¥190,905

内容 : 県議団だより 第158号 (西銘純恵議員増刷分)

充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000395

得意先コード	お 得 意 先 名
	西銘純恵 殿

2022年5月9日

¥ 190,905



但し西銘純恵県議団(だより)15,000部

上記金額正に領収致しました。2022年 第158号

390x270mm 4P.2冊印刷

内 訳	現金	
	小切手	
	銀行振込	
	手形	
	相殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
 TEL (098) 861-9145
 FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年 (R4) 5月 16日

広聴広報費

充当額 : **¥171,600**

内容 : 県議団だより「新たな建議書」印刷代
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000398

得意先コード	お 得 意 先 名
	日本共産党県議団 殿

2022年 5月 16日

¥ 171,600



但し 建議書(共産) 2022年5月(新たな建議書)
上記金額正に領収致しました。12170部

A0X4)IC2022

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年 (R4) 5月27日

広聴広報費

充当額 : **¥910**

内容 : 県議団だより「新たな建議書」郵送料

充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領収書

日本共産党 沖縄県議団様

[証紙切手引受]	
ゆうパック	80サイズ
265368094320 〒901-0156	¥1,030
割引	-¥120
(内訳)	
持込	
	@120
	-¥120
小計	¥910
郵便物引受合計通数	0通
ゆうパック引受合計個数	1個
課税計 (10%)	¥910
(内消費税等)	¥82)
非課税計	¥0
△計	¥910
合計	¥910
お預り金額	¥1,010
おつり	¥100



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2022年 5月27日 15:31
発行No. 220527A5807 端N38箱02
連絡先: 沖縄県庁内郵便局
TEL: 098-866-1120

年月日 : 2022年(R4)6月1日

広聴広報費

充当額 : ¥27,500

内容 : 「県議団だより 158号」ポスティング代(西銘純恵議員分)

充当可能割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000715

西銘純恵様

様

令和4年6月1日

下記の通り領収致しました

¥ 27,500



株式会社

ポスティングコア

那覇営業所/〒902-0075 沖縄県那覇市国場2-65番地

TEL.098-851-8100 FAX.098-851-8367

本社/〒900-0015 那覇市久茂地2-2-2(タイムスビル1F)

沖縄タイムスサービスセンター

担当者

品名	数量	単価	金額			備考
県議団だより 158号	5000	5.0		25000.0		5円/枚の用紙にて
消費税				250.0		
合計				27500.0		

年月日 : 2022年 (R4) 6月6日

広聴広報費

充当額 : **¥910**

内容 : 県議団だより「新たな建議書」郵送料

充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領収書

日本共産党沖縄県議団 様

[証紙切手引受]
ゆうパック 80サイズ
265368094316 〒901-0156 ¥1,030

割引 -¥120
(内訳)
持込 @120 -¥120

小計 ¥910

郵便物引受合計通数 0通
ゆうパック引受合計個数 1個
課税計(10%) ¥910
(内消費税等 ¥82)
非課税計 ¥0

合計 ¥910
口
お預り金額 ¥1,010
おつり ¥100



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2022年 6月 6日 15:50
発行No. 220606A6160 端N38箱02
連絡先: 沖縄県庁内郵便局
TEL: 098-866-1120

年月日 : 2022年(R4)6月9日

広聴広報費

充当額 : ¥21,000

内容 : とくちおさむ県政報告だより第103号配布料
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証 No. _____

渡久地 倫 様 2022年6月9日

★	¥21,000
---	---------

但し、取送料を以て上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額	
消費税額(%)	

GR1219

年月日 : 2022年(R4)7月29日

広聴広報費

充当額 : ¥44,000

内容 : 県議団だより「新たな建議書」印刷代。
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000613



得意先コード	お 得 意 先 名
	日本共産党県議団 殿

2022年7月29日

¥ 44,000

但し 建議書 A3×42.1K x.1720枚
上記金額正に領収致しました。(添付)

内 訳	内 容	
	現金	
小切手		
銀行振込		
手形		
相殺		

担当者印	取扱者印
	

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2

TEL (098) 861-9145

FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年(R4)8月10日

広聴広報費

充当額 : ¥218,240

内容 : 県議団だより 第159号 印刷代
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000618

得意先コード	お 得 意 先 名
	県議団だより 殿

2022年8月10日

¥ 218,240



但し、県議団だより 2022年8月第159号
上記金額正に領収致しました。B4X4Y 16.072.朝日
4C

内	現金	
	小切手	
	銀行振込	
訳	手形	
	相殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2

TEL (098) 861-9145

FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年(R4)8月22日

広聴広報費

充当額 : ¥316,800

内容 : 県議団だより 第159号(西銘純恵議員増刷分)

充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000621

得意先コード	お 得 意 先 名
	西銘純恵 殿

2022年8月22日

¥ 316,800



但し集議(別添)40,000部 2022年8月

上記金額正に領収致しました。第159号 BUK494C
2022年8月22日

内 訳	現金	
	小切手	
	銀行振込	
	手形	
	相殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17

TEL (098) 861-9145

FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年(R4)8月29日

広聴広報費

充当額 : ¥1,350

内容 : 県議団だより「新たな建議書」郵送料

充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領収書

日本共産党沖縄県議団様

[証紙切手引受]
ゆうパック 60サイズ
265368094272 〒399-0011 ¥1,470

割引 (内訳) 持込 -¥120
@120 -¥120

小計 ¥1,350

郵便物引受合計通数 0通
ゆうパック引受合計個数 1個
課税計(10%) ¥1,350
(内消費税等 ¥122)
非課税計 ¥0

合計 ¥1,350
お預り金額 ¥10,050
おつり ¥8,700



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2022年8月29日 16:39
発行No. 220829A9611 端N38箱02
連絡先: 沖縄県庁内郵便局
TEL: 098-866-1120

年月日：2022年(R4)9月14日

広聴広報費

充当額：¥274,600

内容：「県議団だより 159号」ポスティング代

充当可能割合：政務活動に活用するため全額充当

領収証

No 000739

渡久地 修 様



令和4年9月14日

那覇営業所/〒902-0075 沖縄県那覇市国場2-25番地
TEL.098-851-8100 FAX.098-851-8212
本社/〒900-0015 那覇市久茂地2-2-2(タイムスビル内)
沖縄タイムスサービスセンター内

下記の通り領収致しました

¥ 274,600-

担当者

品名	数量	単価	金額	備考
日本産党県議団下"5"リ	110,950		274,600	税込み
ポスティング業				
8月配付				
消費税				
合計				

年月日 : 2022年(R4)9月16日

広聴広報費

充当額 : ¥220,000

内容 : 県議団だより 第159号(西銘純恵議員増刷分ポスティング代)
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000740

西銘 純恵 様

令和4年9月16日

下記の通り領収致しました

¥ 220,000



那覇営業所/〒902-0075 沖縄県那覇市国場2-2-2
TEL.098-851-8100 FAX.098-851-8101
本社/〒900-0015 那覇市久茂地2-2-2 (タイムズビル)
沖縄タイムスサービスセンター

担当者

品 名	数 量	単 価	金 額			備 考
日本共産党沖縄県議団だより 第159号	40000	5.0	200	000	00	8月配付
消費 税			20	000	00	
合 計			220	000	00	

年月日 : 2022年(R4) 11月8日

広聴広報費

充当額 : ¥211,640

内容 : 県議団だより 第159号 (瀬長美佐雄議員増刷分)
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000684

得意先コード	お 得 意 先 名
	瀬長美佐雄 殿

2022年11月8日

¥ 211,640



但し県議団だより26,000部

上記金額正に領収致しました。2022年8月31日迄
154×71 4C

内 訳	現金	
	小切手	
	銀行振込	
	手形 相殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

年月日 : 2022年(R4) 12月22日

広聴広報費

充当額 : ¥117,822

内容 : 県議団だより 160号

充当可能割合 : $¥122,222 \times 96.4\% = ¥117,822$

(広報誌充当可能割合確認票を参照)

領 収 証

No 000699

得意先コード	お 得 意 先 名
	日本共産党県議団 殿

2022年12月22日

¥ 122,222



但し 県議団だより 160号 7,600部

上記金額正に領収致しました。2022年11月

2022年12月22日
42x42 (35x35)

内	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
訳	相 殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2

TEL (098) 861-9145

FAX (098) 861-9148

年月日：2023年(R5)1月20日

広聴広報費

充当額：¥100,800

内容：ニシメ純恵議会報告用八ガキ購入代

充当割合：政務活動に活用するため全額充当

領収書

西尾 純恵 様

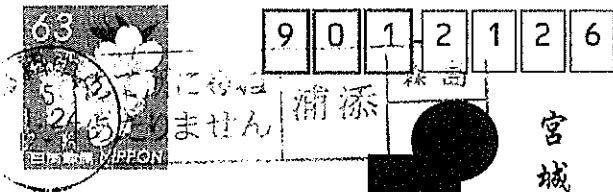
[販売] 通常葉書インク (63円) 63円1,600枚	¥100,800
小計	¥100,800
課税計(10%) (内消費税等)	¥0
非課税計	¥100,800
合計 お預り金額	¥100,800 ¥100,800

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2023年1月20日 15:17
発行No. 230120J3677 端N19箱08
連絡先：美栄橋郵便局
TEL:098-867-1260

郵便はがき



9012126

浦添

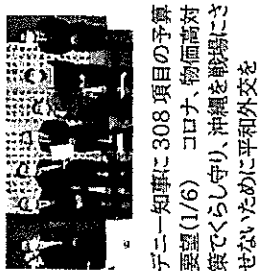
宮城五

ご家族様様

那覇軍港は早期無条件返還を
戦争のための海兵隊の出撃基地
になる浦添新軍港の建設中止を。平
和も暮らしたくもこわす大軍拡、大増税
の政治は変えましよう。

12月議会でのその他の質問
☆ 学童クラブの家賃補助が上限
25万円で全県実施の見直し
☆ 特別養護老人ホームの増設
☆ SORA 学園の正常化に向けて

正規教員を増やす採用計画を立てる—教育長答弁
養護教諭の不在で保健室が閉鎖された牧港小学校などに早期の教員
配置を求め、1000人以上の定数内臨時教員を正規雇用にする抜本的
な採用計画を要求しました。



日本共産党県議会議員 **ニシメ純恵** 電話 870-8575
2023年1月 無料相談事務所 浦添市宮城6-11-2-2F



インクジェット紙

年月日 : 2023年(R5) 1月26日

広聴広報費

充当額 : **¥6,300**

内容 : ニシメ純憲議会報告用八ガキ購入代

充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領収書

ニシメ純憲 様

[販売]	
通常葉書インク (63円)	
63円 100枚	¥6,300
小計	¥6,300
課税計 (10%)	¥0
(内消費税等)	¥0
非課税計	¥6,300
合計	¥6,300
お預り金額	¥10,300
おつり	¥4,000

〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2023年 1月26日 11:32
 発行No. 230126J0410 端N43箱02
 連絡先: 那覇新都心郵便局
 TEL: 098-863-7400

郵便はがき

9 0 1 2 1 2 6



浦添

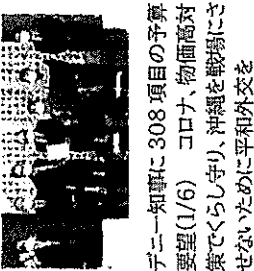
宮城五

ご家族様様

那覇軍港は早期無条件返還を
 戦争のための海兵隊の出撃基地
 になる浦添新軍港の建設中止を。平
 和も暮らしもこわす大軍拡、大増税
 の政治は変えましょう。

12月議会でのその他の質問
 ☆ 学園クラブの家賃補助が上原
 25万円で全県実施の見直し
 ☆ 特別養護老人ホームの増設
 ☆ SORA 学園の正常化にむけて

正規教員を増やす採用計画を立てる—教育長答弁
 養護教諭の不在で保健室が閉鎖された牧港小学校などに早期の教員
 配置を求め、1000人以上の定数内臨時教員を正規雇用にする抜本的
 な採用計画を要求しました。



日本共産党県議会議員 **ニシメ純憲** 電話 870-8575
 浦添市宮城 6-11-2-2F
 2023年1月 無料相談事務所

デニー知事に308項目の予算
 要望(1/6) コロナ、物価高対
 策でくらし守り、沖縄を戦場にさ
 せないために平和外交を

西銘純憲の質問 (12/14)

中満泉国連事務次
長と那覇で再会
(12/20)

那覇市議会
本会12/2

日米訓練で防衛局
に抗議 (6/14)

内閣のかけ前れ調査
(9/27)

辺野古抗議集会1/7

年月日 : 2023年 (R5) 3月 17日

広聴広報費

充当額 : ¥122,222

内容 : 県議団だより 第161号 印刷代
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 001040

得意先コード	お 得 意 先 名
	日本共産党県議団 殿

2023年 3月 17日

¥ 122,222



但し日本共産党県議団印刷 7,600部

上記金額正に領収致しました。第161号 2023年3月

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印

270x350x27 1147 4C
あけぼの印刷株式会社
 〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
 TEL (098) 861-9145
 FAX (098) 861-9148

年月日 : 2023年(R5)3月17日

広聴広報費

充当額 : ¥71,500

内容 : 県議団だより 号外 (3/2 渡久地修議員 一般質問の一部紹介)
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 001042

得意先コード	お 得 意 先 名
	日本共産党県議団 殿

2023年3月17日

¥ 71,500



但し日本共産党県議団だより 7,600円
上記金額正に領収致しました。2023年3月31日
B4x21.1C

内 訳	現金	
	小切手	
	銀行振込	
	手形	
	相殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

年月日 : 2023年(R5)3月20日

広聴広報費

充当額 : ¥41,800

内容 : 「とくちおさむ県政報告だより」郵送用封筒印刷代

充当可能割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 000749

得意先コード	お 得 意 先 名
	渡久地 修 殿

2023年3月20日

¥ 41,800

但し

番号1711708、500枚印刷代

上記金額正に領収致しました。

内	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
訳	手 形	
	相 殺	

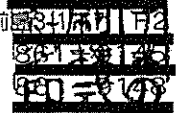
担当者印	取扱者印
	

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前田

TEL (098) 861-3414

FAX (098) 861-3414



年月日 : 2023年 (R5) 3月20日

広聴広報費

充当額 : ¥66,874

内容 : 「とくちおさむ県政報告だより」第104号印刷代

充当可能割合 : $¥69,300 \times 96.5\% = ¥66,874$ (小数点以下切り捨て)

(広報誌充当可能割合確認票を参照)

領 収 証

No 000750

得意先コード	お 得 意 先 名
	渡久地 修 殿

2023年3月20日

¥ 69,300.-

但し 県政誌(だより)第104号 3500円

上記金額正に領収致しました。



内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前田 3-11-11

TEL (098) 331-3121

FAX (098) 331-2143

年月日 : 2023年(R5)3月31日

広聴広報費

充当額 : ¥263,725

内容 : とくちおさむ県政報告だより第105号印刷代
充当割合 : 政務活動に活用するため全額充当

領 収 証

No 001069

得意先コード	お 得 意 先 名
	長久地 修 殿

2023年3月31日

¥ 263,725



但しとくちおさむ県政報告だより 5,500部 105号
上記金額正に領収致しました。 増刷 30,000部

内 訳	現金	
	小切手	
	銀行振込	
	手形	
	相殺	

担当者印	取扱者印

A4X4P.4C
17181-27811-105
あけほの印刷株式会社
〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

広報紙充当可能割合確認票

議員名

日本共産党沖縄県議団

広報紙名	紙面割合
県議団だより 「復帰措置に関する建議書」	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体面積: $25.7\text{cm} \times 36.4\text{cm} \times 2\text{面} = 1870.9\text{cm}^2$ ● 充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 ① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$ ● 充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 1870.9\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下
県議団だより第 158号	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体面積: $27\text{cm} \times 39\text{cm} \times 4\text{面} = 4212\text{cm}^2$ ● 充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 ① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$ ● 充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 4212\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下
県議団だより 「新たな建議書」	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体面積: $29.7\text{cm} \times 42\text{cm} \times 4\text{面} = 4989.6\text{cm}^2$ ● 充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 (① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$) ● 充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 4989.6\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下
とぐちおさむ 県政報告だより 第103号	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体面積: $29.7\text{cm} \times 42\text{cm} \times 4\text{面} = 4989.6\text{cm}^2$ ● 充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 (① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$) ● 充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 4989.6\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下
県議団だより第 159号	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体面積: $36.4\text{cm} \times 25.7\text{cm} \times 4\text{面} = 3741.9\text{cm}^2$ ● 充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 (① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$) ● 充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 3741.9\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下
県議団だより第 160号	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体面積: $39\text{cm} \times 27\text{cm} \times 4\text{面} = 4212\text{cm}^2$ ● 充当対象外記事: 面積計 = 150.1cm^2 (① $6.1\text{cm} \times 24.6\text{cm} = 150.1\text{cm}^2$) ● 充当可能割合: $1 - (150.1\text{cm}^2 / 4212\text{cm}^2) = 0.9644 \approx 96.4/100$以下

広報紙充当可能割合確認票

議員名

日本共産党沖縄県議団

広報紙名	紙面割合
県議団だより号 外 「新しい戦前の はじまり」	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $25.7\text{cm} \times 36.4\text{cm} \times 2\text{面} = 1870.9\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 ① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 1870.9\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下
県議団だより第 161号	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $39\text{cm} \times 27\text{cm} \times 4\text{面} = 4212\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 ① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 4212\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下
とくちおさむ 県政報告だより 第104号	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 85.1cm^2 (① $4.5\text{cm} \times 18.9\text{cm} = 85.1\text{cm}^2$) ●充当可能割合: $1 - (85.1\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 0.9659 \approx 96.5/100$ 以下
とくちおさむ 県政報告だより 第105号	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 (① $0\text{cm} \times \text{cm} = 0\text{cm}^2$) ●充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下

復帰に託した県民の願いは 基地のない平和で豊かな沖縄

一九七一年十一月の「復帰措置に関する建議書」より

復帰から50年。県民の復帰に託した願いは実現したのか。このことがいま問われています。今の沖縄の現実を考えるために、「琉球政府の建議書（原良建議書）」の「はじめに」を掲載します。

一、はじめに

沖縄の祖国復帰はいよいよ目前に迫りました。その復帰への過程も、具体的には佐藤・ニクソン共同声明に始まり、返還協定調印を経て、今やその承認と関係法案の制定のため開かれている第六七臨時国会、いわゆる沖縄国会の山場を迎えております。この国会は沖縄県民の命運を決定し、ひいてはわが国の将来を方向づけようとする重大な意義をもち、すでに国会においてはこの問題についてはげしい論

戦が展開されております。

あの悲惨な戦争の結果、自らの意志に反し、本土から行政的に分離されながらも、一途に本土への復帰を求め続けてきた沖縄百万県民は、この国会の成り行きを重大な関心をもつて見守っております。顧みますと沖縄はその長い歴史の上でさまざまの運命を辿ってきました。戦前の平和の島沖縄は、その地理的へき地性とそれに加うるに沖縄に對する国民的な正しい理解の欠如等が重なり、終始政治的にも経済的にも恵まれない不利不運な下での生活を余儀なくされてきました。

りました。これはまさに国民

的十字架を一身にならね、国の敗戦の悲劇を象徴する姿ともいえましよう。その間大小さまざまの被害、公害や数限りのない痛ましい悲劇や事故に見舞われつつそしてあれにもこれにも消え去ることのできない多くの禍根を残したまま復帰の歴史的転換期に突入しているのであります。

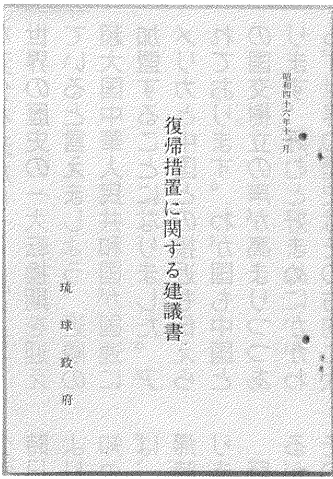
とほ枚挙にいとまありません。

この重大な時機にあたり、私は復帰の主人公たる沖縄百万県民を代表し、本土政府ならびに国会に對し、県民の卒直な意思をつたえ、県民の心底から志向する復帰の実現を期しての県民の訴えをいたします。もちろん私はここまで

の高速となります。

去る大戦において悲惨な目にあつた県民は、世界の絶対平和を希求し、戦争につながる一切のものを否定しております。そのような県民感情からすると、基地に對する強い反対があることは極めて当然であります。しかるに、沖縄の復帰は基地の現状を堅持し、さらに、自衛隊の配備が前提となつておるとのことであり、これは県民意志と大きくくい違い、国益の名においてしわ寄せされる沖縄基地の実態であります。

復帰措置に関する建議書



建議書

た。その上に戦争による苛酷の犠牲、十数万の尊厳人命の損失、貴重なる文化遺産の壊滅、続く二十六年の苦渋に充ちた試練、思えば長い苦しい茨の道程であ

るものであります。さて、アメリカは戦後二六年もの長い間沖縄に施政権を行使してきました。その間にアメリカ力は沖縄に極東の自由

諸国の防衛という美名の下に、排他的かつ恣意的に膨大な基地を建設してきました。基地の中に沖縄があるという表現が実感であります。百万の県民は小さい島で、基地や核兵器や毒ガス兵器に囲まれて生活してきました。そのみでなく、異民族による軍事優先政策の下で、政治的諸権利がいちじるしく制限され、基本的人権すら侵害されてきたことは枚挙にいとまありません。

また、アメリカが施政権を行使したことによつてつくり出した基地は、それを生み出した施政権が返還されるときには、完全でないまでもある程度の整理なり縮小なりの処理をして返すべきではないかと思ひます。

さて、極東の情勢は近来非常な変化を来たしつゝあります。世界の歴史の一大転換期を迎えていると言えましよう。近隣の超大国中華人民共和国が国連に加盟することになりました。アメリカと中国との接近も伝えられております。わが国も中国との国交樹立の声が高まりつつあります。好むと好まぬにかかわらず世界の歴史はその方向に大きく波打って動きつゝあります。

毒ガスでさえ、撤去されると公表されてから、二ヶ年以上も時日を要しております。毒ガスよりさらに難物と推定される未知の核兵器が現存するとすれば、果して後いくばくもない復帰時点までに撤去され得るでありませんか。

疑惑と不安の解消は困難であるが、実際撤去されるとして、その事実はいかにして検証するか依然として不明のまま問題は残ります。

さらにまた、核基地が撤去されたとしても、返還後も沖縄における米軍基地の規模、機能、密度は本土とはとうてい比較にならないと言つことであります。

このような情勢の中で沖縄返還は実現されようとしているのであります。したがって、この返還は大きく胎動しつつあるアジア、否、世界史の潮流にブレキになるような形のものであつてはならないと思ひます。そのためには、沖縄基地の態様や自衛隊の配備については慎重再考の要があります。

次に、核抜き本土並み返還についてであります。この問題については度重なる国会の場で非常に頻繁に論議されておりますが、それにもかかわらず、県民の大半が、これを素直には納得せず、疑惑と不安をもつております。

核抜きについて最近米国首脳が復帰時には核兵器は撤去されるところと証言しております。ところが、私どもはかつて毒ガスが撤去された経緯を知っております。

の世論では安保が沖縄の安全にとつて役立つと言つより、危険だとする評価が圧倒的に高いのであります。この点についても、安保の堅持を前提とする復帰構想と多数の県民意志とはかみ合つておりません。県民はもともと基地に反対しております。

ところで安保は沖縄基地を「要石」として必要とするといふことであります。反対している基地を必要とする安保には必然的に反対せざるを得ないのであります。

次に、基地維持のために行なわれんとする公用地の強制収用五ヶ年間の期間にいたつては、これは県民の立場からは承服できるものではありません。沖縄だけに本土と異なる特別立法をして、県民の意志に反して五ヶ年という長期にわたる土地の収用を強行する姿勢は、県民にとつては酷な措置であります。再考を促すものであります。

次に、復帰後のくらしについては、苦しくなるのではないかと不安を訴えている者が世論では大半を占めております。さらにドルショックでその不安は急増しております。くらしに対する不安の解消なくしては復帰に伴つて県民福祉の保障は不可能であります。生活不安の解消のためには基地経済から脱却し、この沖縄の地に今よりは安定し、今よりは豊かに、さらに

希望のもてる新生沖縄を築きあげていかねばなりません。言うところの新生沖縄はその地域開発と言つても、経済開発と言つても、ただ単に経済次元の開発だけではなく、県民の眞の福祉を至上の価値とし目的としてそれを創造し達成していく開発でなければなりません。従来の沖縄は余りにも国家権力や基地権力の犠牲となり手段となつて利用されてきてきました。復帰という歴史の一大転換期にあつて、この

ような地位からも沖縄は脱却していかなければなりません。したがつて政府におかれても、国会におかれてもそのような次元から沖縄問題をとらえて、返還協定や関連諸法案を慎重に検討していただくよう要請するものであります。

さて、沖縄県民は過去の苦難に充ちた歴史と貴重な体験から復帰にあつては、まず何よりも県民の福祉を最優先に考える基本原則に立つて、(1)地方自治権の確立、(2)反戦平和の理念をつらぬく、(3)基本的人権の確立、(4)県民本位の経済開発等を骨組とする新生沖縄の像を描いております。このようなことが結局は健全な国家をつくり出す原動力になると県民は固く信じているからであります。さらにまた復帰に当つて返還軍用土地問題の取扱い、請求権の処理等は復帰処理事項の最も困難にしてか

つ重要な課題であります。これらの解決についてもはつきりした責任態勢を確立しておく必要があります。

ところで、日米共同声明に基礎をおく沖縄の返還協定、そして沖縄の復帰準備として閣議決定されている復帰対策要綱の一部、国内関連法案等には前記のような県民の要求が十分反映されてない憾みがあります。そこで私は、沖縄問題の重大な段階において、将来の歴史に悔を残さないため、また歴史の証言者として、沖縄県民の要求や考え方等をここに集約し、県民を代表し、あえて建議するものであります。政府ならびに国会はこの沖縄県民の最終的な建議に謙虚に耳を傾けて、県民の中にある不満、不安、疑惑、意見、要求等を十分にくみ取つてもらいたいと思ひます。そして県民の立場に立つて慎重に審議をつくり、論議を重ね民意に依つて最大最善の努力を払つていただき、党派的立場をこえて、たがいにより重大なる責任をもち合つて、眞に沖縄県民の心に思いをいたし、県民はじめ大方の国民が納得してもらえらる結論を導き出して復帰を実現させてもらうよう、ここに強く要請いたします。

